

12月の学級づくり【小学校版】

12月は個別懇談会があります。保護者の方が、「担任の先生はうちの子を温かく見てくれている」と感じれば、学級づくりの協力者となります。また、2学期及び1年の締めくくりにあたり、学級や係、班の活動を振り返り、新たな学級の宝となるものを確認していきましょう。



自尊感情や友だちとの関係を育てる お楽しみ会の工夫

この時期、各教室で行われる「お楽しみ会」の中身を工夫し、今の自分に自信をもったり、友だちとの関係を広げたりすることのできるゲームや出し物を考えてみてはどうでしょうか。

1 去年はできなかった…、でも今年では一年をふり返って、「悪いくせでやめるようになったこと」や「新しくできるようになったこと」をみんなの前で発表。去年の今頃自分がどんな状態であったか見つめ直すことで、自分の成長を友だちと共に自覚し、今の自分に自信をもちます。

2 他学級との交流

自分の学級だけでなく、特別支援学級や日本語学級等、交流をより深めたい他の学級と一緒に「お楽しみ会」を行い、お互い知らなかった活動を紹介し合ったり、自己紹介カードの交換等をしたしながら、友だちの輪を広げます。

「先生は、うちの子をよく見てくれている。
子どものよさも認めてくれてうれしい。」

信頼を得られる保護者懇談会に！

よさや頑張りを中心に伝える

学習の成果や課題・学校生活の様子を、作品や学習カード、事実のメモなどを基に具体的に話せるように、準備して臨みましょう。指導や援助の方向を考え合う場にする

まず、保護者の願いや悩みを親身に聞きましょう。その上で、学校の指導や家庭の援助について話し合しましょう。

明日の子どもの意欲につなげる

家に帰ったら、「先生が、について、がんばっていると誉めていたよ」などと伝えてもらうことも効果的です。

*この機会に、教室環境（掲示物、花や緑など）を整えてお迎えすることも大切です。

一年の締めくくり...

もうすぐ一年が終わろうとしています。

学年の切り替えは年度で行われるとは言え、この時期にも一つの“節目”を作りたいですね。

学級集団への所属感を高める機会に

「4月から、みんなはどんなことを頑張ってきたかな？」そんな問いかけをして、クラスとして取り組んできたことを振り返ってみましょう。いわゆる「十大ニュース」のような形にしてもよいかもしれません。

「私たちのクラスは、こんなことを頑張ってきたんだな。」「自分もその一員なんだな。」そんな思いを持たせてあげたいですね。

一年を締めくくれる喜びを

当たり前のように思えることの中にこそ大きな幸せがあるということを感じてほしいものです。一年を終え、新しい年を迎えられる喜びを、ぜひ先生自身の言葉で子どもたちに伝えてあげましょう。

支援が必要な子どもの「つまずき」を支援するポイント

～衝動的な言動が多い～

「気持ちを上手に伝えられなかったり、相手の気持ちを理解しにくかったりする児童」には

落ち着いてから出来事を思い出し、イラストなどを使って整理して、状況と相手の気持ちを考えるようにしみては。そして、より適切な言葉を提示し、練習してみてもよい。

気持ちを切り替えるような合言葉を決めてみる。

「自分で自分の行動をコントロールする力が弱く、思いつくとすぐに行動してしまう児童」には
がんばったことを「振り返りカード」など目に見える形で評価して、コントロールできたよさを振り返ってみてもよい。